

平成 27 年 11 月 11 日

相生市議会議長

吉田政男

様

会派名 公明党  
代表者名 渡邊慎治

出張報告書

政務活動費により視察、研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

氏名	渡邊 慎治	
日程	27年10月13日 から 10月15日 まで 3日間	
月日	視察、研修、要請・陳情活動、会議先	視察、研修、要請・陳情活動、会議項目
10・13	苫小牧市役所	苫小牧再生総合プロジェクトについて
10・14	九日川市 苫小牧交流館	苫小牧活性化交流拠点創出事業について
10・14	九日川市 九日山動物園	九日山動物園の活性化について

旅費 (1名分)	負担金 (名分)	合計 (1名分)
68,856 円	円	68,856 円



## 視察の成果・報告

### ○苫小牧市〈まちなか再生総合プロジェクト〉2014-2016

このプロジェクトは、従来の中心市街地が人口増加に伴い、市街地の拡大整備及びモータリゼーションの進展に伴い商業施設等の郊外立地、情報化社会の進展による消費生活の動向の変化により、衰退に歯止めがかからず現在にいたっている。

その中心地をかつての一番賑やかな場所とすべく、取組みを行う事業である。

この構想は、理にかなっていると強く感じた。市の中心地には、中心地たる要素が多分にあり、その地が、上記の事由により、住みにくくなった現状に対し、高齢化、人口減少へと転換していくこの時期にこの地域を上記の条件を満たすことのできる地域へと変換・再生していくことは、間違いなく市全体が、活性化・進展につながるものと思います。このような課題は、わが市にも通ずるものがあり、自然人口の低下等に伴い空き家等が増加していくこの時に、中心地の再生を考えていく必要があると思いました。

### ○旭川市〈中心市街地活性化基本計画〉

この計画は、苫小牧市と同様の理由によるものではあるが、特に、中心地の商業施設の空き店舗の増加による賑わいの低下に対する対策として、中心市街地の活性化に取り組む計画である。

この街は、駅を中心とする中央に大きな道路があり、そこを日本初の恒久的な歩行者天国としたことにより、後に「買物公園」となり、多くの観光客に親しまれる地区となっている。

これからの発展を考えると比較的恵まれた地であり、とても真似のできない事例であると感じました。しかしながら、そこに住む市民・住民の我が街を発展させようとの意欲は、すさまじいものがある。

### ○旭山動物園

市の一般会計の助けを借りることなく、特別会計のみで黒字経営を持続している。そこには、職員の方々の並々ならぬ努力があります。

常に見物客の立場に立ち、子どもから高齢者までのすべての世代の方々に喜んでいただけるよう、すべての世代の人々の要望、興味等事細かく掌握し、すぐさま施設整備を行い、常に見物客に満足と喜びを届けていけるよう、日々努

力を重ねている。と同時に、そこにいる動物たちにとっても、とても過ごしやすい環境の整備も常に工夫がなされている。

通常なら、一見無駄に思える施設整備も、すべてプラス要素となっているため、黒字経営が実現している。

このことをわが市に置き換えると、そこに住む住民が、楽しく満足に生活ができ、そこを訪れた人々に満足と喜びを与えられるなら、市は、大発展できると強く感じました。